

## 漢方製剤

第2類医薬品

# 阪本漢法の 小青竜湯エキス顆粒

(しょうせいりゅうとう)

「小青竜湯」は、漢方の成書といわれる中国の医書「傷寒論(しょうかんろん)」、「金匱要略(きんきょうりやく)」に記載されている漢方薬です。

アレルギー性鼻炎、感冒、花粉症などで鼻水が多量に出て止まりにくい鼻炎、水っぽい痰を伴った咳や気管支ぜんそくなどの病気は、漢方では水毒(体内の水分代謝が悪い)が原因と言われています。

「阪本漢法の小青竜湯エキス顆粒」は、からだを温め体内の水毒をとることによって鼻水、鼻炎、うすい水様の痰を伴う咳に効果があります。

生薬を抽出したエキスを最大量配合しておりますので、効果の手ごたえを感じていただけます。

飲みやすく服用量を調節しやすい顆粒ですので、1歳の子供から大人まで幅広く服用できます。

眠くなる成分は入っておりませんので、仕事や車の運転にも支障はありません。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児。



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。

むくみ、排尿困難

(9) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位(感冒に服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
 4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

### ■効能・効果

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

### ■用法・用量

1日3回食前又は食間に服用する。

年 齢		1回服用量
成人(15歳以上)		1包
7歳以上	15歳未満	2/3包
4歳以上	7歳未満	1/2包
2歳以上	4歳未満	1/3包
生後3ヵ月以上	2歳未満	1/4包

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
- (3) 食間とは食後2~3時間を指す。

■成分・分量 本品3包(1包3g)中  
 小青竜湯エキス 4.22g

成分	分量	成分	分量
日局 マオウ	3g	日局 ケイヒ	3g
日局 シャクヤク	3g	日局 サイシン	3g
日局 カンキョウ	3g	日局 ゴミシ	3g
日局 カンゾウ	3g	日局 ハンゲ	6g

より製した乾燥エキス

添加物：乳糖水和物、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤は天然物(生薬)のエキスを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

### ■保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。
- (5) 湿気などにより薬が固化することがあるので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、速やかに服用すること。

### ■お客様相談室

電話 06-6131-1300

(祝祭日を除く月~金曜日 10:00~17:00)

製造販売元

株式会社 阪本漢法製薬

大阪市北区曾根崎2丁目7番4号  
<http://www.sakampow.com>

副作用被害救済制度の問合せ先  
 (独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
 電話 0120-149-931(フリーダイヤル)